

きたかん.net 活動レポート

[タイトル] 第8回きたかんスコラ	
[日時] 平成24年8月29日(水) 18:30~21:00	[場所] エルプラザ環境研修室
[参加人数] 11名	[その他]
[プログラム] 「道外・海外から見た北海道観光」 * 韓国編 講師：高野 康夫氏 (きたかん4期生、ことばサポーターなぐね代表) * 中国編 講師：山村 紀子氏 (きたかん4期生、シーダースコミュニケーション) * 道外メンバーのアンケート報告	
[概要 (100字程度)] 今回のテーマは「外から見た北海道観光」。現地事情にも精通し、知識と経験が豊富な講師2名から、韓国及び中国から見た「北海道」やそれぞれのお国柄など、楽しく、そして役立つ情報をお話してもらいました。新しい発見もあり、大変賑やかなスコラとなりました。	
[内容] 韓国編 <ul style="list-style-type: none">・ 韓国人の北海道のイメージは「雪、冬」。最近避暑地というイメージもできてきたが、「北海道は暑い」という噂も。・ 一番行ってみたいところは「知床五湖」「旭山動物園」。してみたいことは「釧路湿原散策」「露天風呂」。食は「カニ」。ただ、毛がには不人気。タラバが人気。・ 10人に6人はスマートフォンを持っている。人が書いたブログをよく見る。・ ソウルのVIPが北海道に来ると、ソウルは東京のような都市なので、札幌に来て「面白くない」と言われる。	中国編 <ul style="list-style-type: none">・ 2009年7月に個人観光ビザが解禁となり、毎年規制等が変更(緩和)されている。・ 人気の観光地は「札幌」「登別」「富良野」「網走」「阿寒」・日本で体験したいことは圧倒的に温泉。あとは自然体験型のアクティビティ。乗馬体験。・ 「雄大な自然」は中国人にはなかなか響かない。反対に「コンパクトさ」が売りになる。・ 宿泊費用などのLAND費用が安く抑えられる傾向にあり、お客の満足度が低くなっている。・ WEBは政府の管理下であり、許可を得ることが必要。日本にサーバがあるWEBは、事情により閲覧できなくなることも。・ 文化や習慣の違いをお互いが理解し、伝える・聞くなどの受入体制が必要。
[写真]	
	